



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 スターゼン株式会社
 コード番号 8043
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <https://www.starzen.co.jp/>

(氏名) 横田 和彦
 (氏名) 森上 倫輔 (TEL) 03-3471-5521
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 102,363 | 15.9 | 2,264 | 6.6 | 2,964 | 6.8 | 2,069 | 4.4 |
| 2022年3月期第1四半期 | 88,293 | 6.5 | 2,123 | 116.8 | 2,775 | 71.3 | 1,981 | 51.0 |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,577百万円(44.9%) 2022年3月期第1四半期 1,778百万円(1.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年3月期第1四半期 | 円 銭 106.27 | 円 銭 — |
| 2022年3月期第1四半期 | 101.82 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 157,579 | 65,313 | 41.6 |
| 2022年3月期 | 142,428 | 64,001 | 45.1 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 65,491百万円 2022年3月期 64,179百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | — | — | 65.00 | 65.00 |
| 2023年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 65.00 | 65.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 390,000 | 2.2 | 6,800 | △1.5 | 8,400 | △8.4 | 5,700 | △4.8 | 292.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期1Q | 19,522,552株 | 2022年3月期 | 19,522,552株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 2023年3月期1Q | 47,455株 | 2022年3月期 | 47,161株 |
|------------|---------|----------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期1Q | 19,475,245株 | 2022年3月期1Q | 19,462,988株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され経済活動の正常化が進む中、景気に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化の懸念に加え、7月以降新型コロナウイルス感染が再拡大するなど、先行きについては不透明な状況が続くことが予想されます。

食肉業界は、食肉消費が落ち着きを見せ始めるとともに食肉輸入価格や飼料価格が高騰しつづけるなど、今後の厳しい環境が想定され動向に注視が必要な状況です。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍においても品質管理ならびに衛生管理を徹底するとともに柔軟な勤務体制等の対策を講じ、社員の安全確保に配慮しつつお客様のご要望にお応えしてまいりました。

また、『「収益力強化」に向けた「体質改善」』のテーマのもと、さらなる成長を遂げるための施策に取り組んでまいりました。新たな取り組みとしては、株式会社大商金山牧場と資本業務提携契約を締結いたしました。本資本業務提携をきっかけに互いの商品をそれぞれのネットワークを通じて販売することや、商品の共同提案、将来的には両社の拠点・機能・人的資源の共同活用による事業効率化等を図り、ひいては両社の企業価値向上を目指します。加えて、本年7月には㈱阿久根食肉流通センター並びにスターゼンミートプロセッサー(㈱阿久根工場ビーフセンター)の拡張工事が完了し、今後、阿久根工場の輸出専用ブランドである AKUNE GOLD 皇(すめらぎ)や、スキンパック商品の製造を強化し、牛肉の輸出を拡大してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は102,363百万円(前年同四半期比15.9%増)、営業利益は2,264百万円(前年同四半期比6.6%増)、経常利益は2,964百万円(前年同四半期比6.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,069百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりです。

<食肉関連事業>

食肉関連事業の売上高は101,681百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

また、部門別の業績は次のとおりです。

(食肉)

国内事業は、国産食肉の販売が堅調に推移したことから取扱量は前年同四半期を上回りました。売上高は、取扱量の増加に加え輸入食肉の国内相場上昇等により前年同四半期を大きく上回りました。売上総利益は、品目ごとに明暗が分かれる結果となりましたが、全体では前年同四半期を上回りました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、各畜種ともに販売が堅調に推移し、取扱量、売上高ともに前年同四半期を上回りました。売上総利益は取扱量の増加に加え、和牛相場が前年同四半期を下回る水準で推移したこと、また、販売機会ロスの削減や早期販売を意識した在庫コントロールが功を奏し前年同四半期を大きく上回りました。

輸入食肉は、輸入価格高騰等の影響から輸入鶏肉の取扱量が減少したものの、他の畜種で取扱量を確保し、全体の取扱量は前年同四半期比横ばいとなりました。売上高は、牛肉及び副生物を中心とした国内相場が高値推移したことから前年同四半期を大きく上回りました。売上総利益は、牛肉を中心に前年同四半期好調の反動や輸入価格高騰の影響を受け前年同四半期を下回りました。

輸出事業は、欧州向けを中心に好調に推移したものの、米国向けが牛肉の低関税輸入枠超過による関税引き上げの影響で低迷したこと等から輸出重量は前年同四半期を下回りました。売上高は輸出単価の高い欧州向けが好調だったことから前年同四半期を上回りました。

これらの結果、食肉部門の売上高は80,561百万円(前年同四半期比15.2%増)となり、売上総利益は前年同四半期を上回りました。

(加工食品)

加工食品は、一部取引先向けのハンバーグ商品群で取扱量が減少しましたが、スライス商品、ローストビーフ関連商品の販売が堅調に推移し、全体では取扱量、売上総利益ともに前年同四半期を上回りました。売上高は、原材料コストやユーティリティ費用の上昇を踏まえた商品価格改定等により17,702百万円(前年同四半期比21.5%増)と前年同四半期を大きく上回りました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、外食向け商品の販売が回復傾向で推移しましたが、コンシューマ向け商品の販売が落ち

着きを見せ始め、取扱量は前年同四半期比横ばいとなりました。売上高は加工食品と同様に商品価格改定により2,926百万円(前年同四半期比10.4%増)と前年同四半期を上回り、売上総利益も販売条件の変更等により前年同四半期を上回りました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は490百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は681百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、14,892百万円増加し、108,465百万円となりました。これは、主として商品及び製品、現金及び預金、前渡金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、261百万円増加し、49,091百万円となりました。これは、主として投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、15,151百万円増加し、157,579百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、15,499百万円増加し、70,619百万円となりました。これは、主として短期借入金、買掛金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、1,659百万円減少し、21,647百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、13,840百万円増加し、92,266百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、1,311百万円増加し、65,313百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日付け公表の「2022年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,172 | 15,091 |
| 受取手形及び売掛金 | 31,533 | 29,262 |
| 商品及び製品 | 32,115 | 39,779 |
| 仕掛品 | 437 | 474 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,294 | 2,375 |
| 前渡金 | 12,218 | 15,648 |
| その他 | 3,811 | 5,843 |
| 貸倒引当金 | △10 | △10 |
| 流動資産合計 | 93,572 | 108,465 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,896 | 12,790 |
| 土地 | 10,531 | 10,531 |
| その他（純額） | 5,417 | 5,267 |
| 有形固定資産合計 | 28,845 | 28,588 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 1,952 | 2,130 |
| 無形固定資産合計 | 1,952 | 2,130 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 15,940 | 16,167 |
| その他 | 2,091 | 2,203 |
| 投資その他の資産合計 | 18,032 | 18,371 |
| 固定資産合計 | 48,829 | 49,091 |
| 繰延資産 | 25 | 23 |
| 資産合計 | 142,428 | 157,579 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 16,953 | 19,806 |
| 短期借入金 | 10,847 | 22,239 |
| 1年内償還予定の社債 | 2,100 | 2,100 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 9,589 | 9,288 |
| 未払法人税等 | 1,825 | 1,037 |
| 賞与引当金 | 1,652 | 817 |
| その他 | 12,151 | 15,329 |
| 流動負債合計 | 55,119 | 70,619 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,000 | 5,000 |
| 長期借入金 | 13,643 | 11,922 |
| 退職給付に係る負債 | 2,051 | 2,090 |
| 債務保証損失引当金 | 190 | 210 |
| その他 | 2,421 | 2,424 |
| 固定負債合計 | 23,306 | 21,647 |
| 負債合計 | 78,426 | 92,266 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,658 | 11,658 |
| 資本剰余金 | 12,508 | 12,508 |
| 利益剰余金 | 38,101 | 38,905 |
| 自己株式 | △105 | △106 |
| 株主資本合計 | 62,163 | 62,966 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,741 | 1,653 |
| 繰延ヘッジ損益 | 441 | 959 |
| 為替換算調整勘定 | △145 | △54 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △20 | △32 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,016 | 2,525 |
| 非支配株主持分 | △177 | △178 |
| 純資産合計 | 64,001 | 65,313 |
| 負債純資産合計 | 142,428 | 157,579 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 88,293 | 102,363 |
| 売上原価 | 79,178 | 92,726 |
| 売上総利益 | 9,114 | 9,637 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,991 | 7,372 |
| 営業利益 | 2,123 | 2,264 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 59 | 58 |
| 持分法による投資利益 | 223 | 151 |
| 不動産賃貸料 | 107 | 68 |
| 受取保険金及び配当金 | 166 | 262 |
| 補助金収入 | 114 | 273 |
| その他 | 109 | 89 |
| 営業外収益合計 | 780 | 903 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 55 | 91 |
| 不動産賃貸費用 | 33 | 33 |
| その他 | 39 | 77 |
| 営業外費用合計 | 128 | 203 |
| 経常利益 | 2,775 | 2,964 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 投資有価証券売却益 | 41 | 2 |
| 特別利益合計 | 41 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 減損損失 | 0 | 5 |
| 特別損失合計 | 1 | 7 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,815 | 2,959 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,085 | 1,109 |
| 法人税等調整額 | △249 | △218 |
| 法人税等合計 | 835 | 890 |
| 四半期純利益 | 1,980 | 2,069 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △1 | △0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,981 | 2,069 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,980 | 2,069 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △148 | △82 |
| 繰延ヘッジ損益 | △75 | 517 |
| 為替換算調整勘定 | 45 | 68 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | △16 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △26 | 21 |
| その他の包括利益合計 | △201 | 508 |
| 四半期包括利益 | 1,778 | 2,577 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,780 | 2,578 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △1 | △0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。